



おおねじめ

昭和58年2月号

№.361

町の人口(2月1日現在)

男 4,534 人

女 5,098 人

計 9,632 人

12月1日より42人増

発行 肝属郡大根占町役場

題字町長



夜間歩こう大会

参加者は八百人にも

体力づくりの一環として行
われている歩こう大会
大好評とみえて年々参加者
は増えています。
今年も親子連れなど約八百
人が参加しました。



新春に水のアーチ

新春恒例の町消防出初め式が一月六日、大根占中学校グラウンドで開催されました。当日は、団長以下百八十人の消防団員が、来賓多数の見守る中で規律整然とした雄姿で、分列行進や小隊訓練、操法技術を披露しました。なかでも池田少年少女消防クラブ員二十八名の規律訓練は、大人顔負けのきびきびした動作で行われ、参列者の盛んな拍手を受けました。

勇壮に消防出初め式

団員百八十人が勢ぞろい

訓練の後、川辺町長代行の中村助役が「伝統ある大根占町の消防技術と消防精神をふるに発揮し、消防団員としての自覚のもと、日頃の訓練に励んでください」とあいさつ。続いて、火災発生に際し、いち早く駆け付け、初期消火に協力した七人に感謝状の贈呈がありました。

その後、大根占警察署長など来賓のあいさつがあり式を終了しました。

主な表彰は次のとおりです。

- 。日本消防協会精進章（三十二年勤続）
- 安水 一（池田分団）
- 福園 勇（神川分団、退団）
- 。日本消防協会勤続章（三十二年勤続）
- 宮下清資（本部付け部長）
- 。二十五年勤続者妻の表彰
- 中馬トミ子（重男）山下ツル（達雄）牧原ノリ子（利秋）以上宿利原分団 飯屋シヅ（茂）池田分団

消防団員が不足しています

（神川分団・中央分団）

自分の財産は

自分で守ろう

分団別消防団員数 1/6 現在

分団名	区	条	例上の団員数	団員実数	不足数
中央分団			65人	54人	11人
神川分団			50	48	2
池田分団			40	40	0
宿利原分団			45	45	0
計			200	187	13

部落別団員数（中央分団）

部落名	人員
ふもと	2
鳥井戸	1
木場	1
大橋下	1
木原	1
寺前	1
山ノ口	3
神之浜区	1
本町	1
京町	5
旭町	2
栄町	1
塩屋	7
城ヶ崎	1
瀬戸山	5
六反田	5
中園	5
宮脇	3
上ノ宇都	8
計	54

今年の消防出初め式で五人の新人団員がありました。それでもまだ団員が不足しています。宿利原分団、池田分団はともかく、神川分団で二人中央分団で十一人の団員が不足しているのです。災害はいつ発生するかわかりません。いざ!!というとき、団員が少ないとじゅうぶんな対応ができません。



消防精神の勉強は敬礼から（新人団員）

きません。火災などの災害に備えて日頃から訓練を積んだ団員を確保しておかなければなりません。

町民一人一人が、自分の財産は自分で守るという自覚、すなわち家族の一員として自ら家族を守り、財産を守り、町民の一人として町の財産を守るなど考え合わせたとき、おのずと消防団の任務、目的が理解され「団員不足」というような問題はおこりえないのではないのでしょうか。ちなみに各分団ごとの団員数と中央分団の部落別団員数を紹介しますと別表のとおりです。

入団希望者は、近くの消防団員か役場総務課へ連絡ください。

老人保健制度がスタート

お年寄りの医療費が一部有料

外来 一月毎に四百円
入院 一日三百円（二ヶ月間）

老人保健制度？

これは本格的な高齢者社会の到来を前に、今後、国民の老後の健康をどのように確保してゆくか。政府が検討を重ねてつくられた新しい制度です。

実際の医療の受け方

。医療の対象者

七十歳以上及び六十五歳以上の寝たきりの状態にある医療保険の加入者が対象

。健康手帳の交付

すでに対象者には、健康手帳が配付されています。これから、七十歳の誕生日または寝たきりなどの状態にある旨の認定を受けた翌月から対象者となり、老人医療費受給者証の代わりに健康手帳が交付されます。



健康手帳

健康手帳は、医療の受給資格を証明し、医療と日常の健康管理に役立たせるため健康診査などの結果を記録するものです。病院で診察を受ける場合は、この健康手帳を保険証を窓口へ提示します。

。費用の一部負担

老人医療費の負担割合を是正

老人保険制度では、七十歳以上の人の医療費を国・都道府県・市町村と医療保険各制度の保険者が負担することになりました。

医療保険制度には、健康保険、国民健康保険、共済組合などがありますが、それらの老人医療費の負担割合には、アンバランスなところがありました。

特に、老人加入率の高い国民健康保険は、老人医療費の負担割合が高く、そのため財政は、もはやパンク寸前の状態になっているのです。

なぜ、国民健康保険の老人加入率が高いのでしょうか。

老人保険制度では、七十歳以上の人の医療費を国・都道府県・市町村と医療保険各制度の保険者が負担することになりました。

現在、国民健康保険に加入しているお年寄りの多くは、若いころには健康保険や共済組合に加入していました。しかし、退職すると、健康保険などに加入できなため、国民健康保険に移ります。そのため老人加入率が増えてしまっているのです。

そこで、国や都道府県、市町村のほか、医療保険各制度が拠出金を出し合うことにより、老人医療費負担のアンバランスを是正し、お年寄りに対する医療を確実に行うことができるようにしたのです。

交通災害共済（家族みんなで加入しよう）

- 。 1日1円 → 年360円（共済金）
 - 1 死亡の場合..... 1,000,000円
 - 2 治療実日数180日以上180日未満の傷害..... 160,000円
 - 3 治療実日数150日以上180日未満の傷害..... 100,000円
 - 4 治療実日数120日以上150日未満の傷害..... 85,000円
 - 5 治療実日数90日以上120日未満の傷害..... 75,000円
 - 6 治療実日数60日以上90日未満の傷害..... 60,000円
 - 7 治療実日数30日以上60日未満の傷害..... 45,000円
 - 8 治療実日数15日以上30日未満の傷害..... 25,000円
 - 9 治療実日数7日以上15日未満の傷害..... 15,000円
- 申込みは3月中に役場へ
- （部落長さんに申し出てください
また、税の申告の場所でも受付けます）

成人式を迎え、私は三つの誓いをたてました。
一、自分の行動に責任をもつ
二、限られた命を精いっぱい生きる。
三、親をたいせつにする。
この誓いを基にして交通安全について考えてみました。
交通事故は年々増加しています。事故で若い命をすてる人も後をたちません。事故で働くことのできない人も多いうです。事故をなくすためには、みんなが自覚する以外に方法はないのです。交通ルールを守ることはドライバーとしての義務であり、命をたいせつにすることにも、親孝行にもつながります。交通問



三つの誓い
錦江信用組合勤務
宮下和弘(上ノ宇都)

二十歳になって思うこと

題一つを取りあげてみても、社会人としての権利と義務を考えさせられます。
皆さん、交通ルールをしっかり守り、我々若者が先頭に立って交通事故防止に努めましょう。

選挙では

自分自信の自覚で一票を
相互信用金庫勤務
大田中 琴美(寺前)

「成人」何気なく辞書を開いてみた。大人、子供が成長すること……
改めて考えてみるとほんとうに大人になったのか今だに実感が沸いてこない私です。今年成人式を迎えた我々は、高度経済成長化の中で、何ん自由なく育ってきました。今世界的な経済不況の時代を迎え、あわせて社会的にも倫理



新成人として新たな心境になり、気持を引き締めて新年を迎えました。
成人の日は、法律的に大人として認められる記念すべき日です。私はすでに社会の一員として働いています。ただ社会人としての役割をじ



責任のとれる大人に
牧原勝郎(牧原)

が失われてきています。これからの日本を、そして地域社会を支えるのは私達だと思えます。
二十歳になって選挙権が与えられます。いくら「きれいな選挙を」と叫んでも、結局は自分自身の自覚と責任感なのです。私は活動力のあるバイタリティーあふれる人に一票を投じるつもりです。
現代に生きる若者の一人としてこれからの私は、他人の言葉に流されることなく、自分のやることに自信をもって行動できる人間になりたいと思っています。

青年団の一員として 社会活動に参加

根占ソーイング勤務
南 ひとみ(川南)



成人式を迎え、私も大人の仲間入りができました。
今までは、いつも両親や友人に頼ってしまい他人に頼りきった日々を過ごしてきたように思います。
これからは自分は社会人であることを深く認識し、責任ある行動で他人から信頼される大人になるよう心がけていこうと思います。幸いに、地

池田青年団の一員として、地

我々はある適当な時期に親の庇護を脱して自分の力で生きていかなければならない。昔はその時期が十歳から十五歳であって「元服」ということで祝った。つまりこれが成人式である。ところが、社会が複雑化した現在、二十歳になってそれを祝うようになった。
我々はこの複雑化した社会で生きていかなければならない。数多くの困難に出合い、そして多くの人と出合いながら社会人として成長していくのである。困難に対する適正な反断力、洞察力、行動する勇気を自分で養い、自分の人生は自分自身で創りあげるものであることを忘れてはならない。



自分の人生は自分で!!
なんぐう農協勤務
迫 和明(神川新町)

域の社会活動に参加しています。青年団活動を通じて仲間と語り合い、自己を磨いていこうと思います。

新成人を祝う 今年は210人

義務の果たせる社会人となって

今年、町内で大人の仲間入りをしたのは二百十人、(男百八人、女百二人)その新成人を迎えて、一月三日農村労働福祉センターで成人式が行われました。
式典では、町長代理として中村助役が「社会人としての義務を忘れることなく、責任ある行動で社会に貢献してく



新成人の門出を祝う

新成人へひとこと



町青年団
山中純一(24歳・上ノ宇都)

青年団活動で仲間づくりを

町青年団を代表してまた町内で働く農業後継者の一人として、私の考えを皆さんに申し述べさせていただきます。
私は農業を営んでいます。農業は難儀な仕事であり、苦勞も多いと思われがちですが決してそうではありません。自分で生産する喜びは何物にも替えられません。そんな農業が私は好きです。だから自

分の一生の仕事として誇りを持ち、一生懸命頑張っています。
ある作家が「人生は一冊の書物に似ている。愚者は、それをペラペラめくり、賢い者は、それを念入りに読む、なぜなら 賢い者は、人生が二度と繰り返しができないことを知っているから。」だと言っています。
皆さん、人生をただぼう然と過してはいけません。青春の真ただ中にある皆さん

強く誓いの言葉を述べ式典を終りました。
若者のつどいは、私の主張と題して、新成人の宮下和弘さん(上ノ宇都、錦江信用組合勤務)と町青年団員の山中純一さん(上ノ宇都、農業)が意見発表をしました。
また今年は、のど自漫大会が行われ、各校區から選ばれた歌い手が、得意のノドを披露し会場を賑わしました。

町青年団員数(2/1現在)

区分	人員			団長名
	男	女	計	
青年団				
城元青年団	12	3	15	久保清隆
神川青年団	13	4	17	満留満春
宿原青年団	12	9	21	永山光昭
池田青年団	15	12	27	畠中 直
計	52	28	80	

は、二度とないこの時期を後悔することのないよう、一日をたいせつにしてください。自分の行動、言動に責任を持ち、そして自分の仕事に自信と誇りをもってこそ一人前の大人として認められると思います。急がず、あわてず自分の信じる道を胸を張って進んでください。
町内には、我々若い仲間が一諸に活動する青年団組織や農業後継者の組織があります。新成人の皆さん、ぜひこの組織の一員となってください。仲間づくりをはじめ、社会人として地域の社会活動に積極的に参加する機会も町青年団活動が一番です。
皆さん、青年団活動で一諸に青春の思い出をつくりましょう。

御苦労さまでした



十二月三十一日付をも
って諏訪原昭夫さんが退
職されました。

諏訪原さんは、昭和二十七年二月に役場に勤務されて以来三十年間にわたり、あらゆる分野で活躍し、議会事務局長、税務課長などを歴任され町政発展のために貢献されました。
本場に長い間御苦労さまでした。

所得税の
確定申告は
正しくお早めに

昭和五十七年分の所得税の確定申告は、二月十六日から受付が始まります。申告期限は三月十五日までです。期限間近になりますと税務署は大変混雑しますので、確定申告は早めにしてください。なお贈与税の申告は二月一日から三月十五日までです。

確定申告で所得税が還付される場合

- 住宅の新築・購入をしたとき
- ……四万七千円税額控除
- 災害や盗難にあったとき
- 多額の医療費を支払ったとき（最高二百万円所得控除）

おしらせ



大根占電報局から

オレンジラインで
加入者サービスを向上

大根占電報電話局では、皆様方の声をより事業に反映させるため、オレンジラインを設置しております。皆様の御意見・御要望を電話や直接窓口へおしらせさせていただきますようお願いいたします。

自衛官募集

- 職種
二等陸士・二等海士及び二等空士
- 期間
昭和五十八年三月三十一日まで
- 応募資格
満十八歳以上二十五歳未満の者で日本国籍を有する男子
- 試験科目
中学校卒業程度（国語、数学、社会） 身体・適正検査及び口述試験

ゴミは 決められた場所へ

皆さん、ゴミはどこへ捨てたらいいのでしょうか？
もちろんチリ箱です。
誰もが知っているゴミの捨て場所であり、捨てて悪い場所と知りながら勝手に場所を決めて捨てる人がいるのです。ゴミは決められた場所に捨てましょう。

◎ゴミ捨て場所
松坂危険物捨て場
ここには、生ごみを除く家庭から出されるゴミや危険物を捨てることができます。
生ゴミは、ビニール袋に入れてチリ収集の指定場所へ運

職員異動

二月一日付で、役場職員の一部配置替えがありましたのでお知らせします。（一）内は旧所属

南大隅衛生管理組合及び大根田衛生管理組合へ出向（錦江園長）水滝克己、錦江園長（保健衛生課長）久保武士、保健衛生課長（管財課長）宮里悦夫、税務課長（南大隅衛生管理組合及び大根田衛生管理組合事務局長）四本儀平、管財課長は助役が兼務

「インフルエンザ」に注意を!!



- 寒さとともにインフルエンザが大流行しています。
- インフルエンザを防ぐため次のことに注意
- ◎手洗いやうがいをしてしましよう。
- ◎湯ざめ、冷え込み、気温の変化に注意し、うす着や過労にならないようにしよう。
- ◎インフルエンザにかかったらすみやかに医師の診断を受けましよう。
- ◎安静・保温・栄養は、治療の三大原則です。
- ◎他人への感染防止のためマスクを使用しましよう。

興味深く説明に聞き入る
参加者（河上神社の宝塔）



城元振興会が文化財めぐり

大根占校区振興会（会長 落司孝）は、1月24日町内の文化財めぐりを実施しました。
当日は、振興会役員をはじめ、部落長、婦人会長ら二十九人が参加し町内に所在する文化財を訪ね、歴史的意義について勉強をしました。
河上神社をスタートに、大根占水田に引かれた用水路の建設を記念した城元新溝碑、根占と大根占を結ぶ用水路トンネル、田之神像、松崎の砲台跡、高城城跡、神川の淵之上神社（古石塔群）宿利原の高尾神社（役行者像）池田の旗山神社（大楠）などを見学しました。
参加者のほとんどが、話には聞いたことはあったが、目で見るのは初めてという人ばかり。町社会教育指導員の鶴園先生の説明に聞き入っていました。
町内に所在する貴重な文化財を見て、新たな歴史や伝説を勉強することができて有意義であったと好評の文化財めぐりでした。



県肉牛共進会で最優秀賞

中迫虎吉さん（中園）

昨年十二月に鹿児島県畜市場で開催された県肉牛共進会で、肝属郡代表で出品した中迫虎吉さん（中園）所有のメス牛（まさぎくの21）が、最優秀賞を受賞し、九十一万円という高値で買い取られました。

まさぎくの21は

昭和55年2月28日生まれ

父 → 鹿秀土井

母 → まさぎくの2 という血統の牛です。

中迫さんは、毎年連続して県内牛共進会へ優秀な牛を出品されています。

中迫さんに牛の飼育についてたずねてみました。

- (1) 素牛の選定がまずだいじなことです。これは長年の牛を見る経験が必要です。
 - (2) 毎日牛に対して愛情をもって接する
 - (3) 牛小屋の環境を良くする。居心地のよい場所を作ってやる。そうすることが、食欲をそそり体型を大きくする。
- 最近、肉牛の価格が低迷しています。でも牛の育て方ひとつで、このような高く売れる牛を育てることができるのです。

まちの話題



夜間歩こう大会

夜間歩こう大会が一月二十九日、各校区からお年寄りや幼児など約八百人が参加して行われました。

コースは、各校区からそれぞれ町運動公園までの五、五キロから七キロ、参加者全員が懐中電燈をたよりに、一時間半から二時間かかって元気な足どりで町運動公園に到着しました。参加者は、厚ケ瀬の厚ケ瀬くるみちゃん（三歳）をはじめ、小中学生、家族連れ、お年寄りで、ジャージ姿に運動づつスタイル、中にはベント一持参で、ちょっとした遠足気分の親子連れなどもありました。

運動公園では、栄養改善グループの皆さんが心をこめて準備されたぜんざいがふるまわれました。その後、全員でジャンケンゲームを楽しみました。今年のチャンピオンは前迫タツ子さん（池田校区）でした。



親子駅伝を楽しむ（宿利原校区）

冬休み最後の一月七日、宿利原校区で校区一周親子駅伝大会が開かれました。

この大会は、親と子がお互いに協力し、寒さに負けない丈夫な体をつくるとともに、校区民の親睦と融和を高めるため、校区の小・中学校PTAが主催して毎年行っているものです。

コースは、宿利原中学校を出発点として、戈原、大尾、落河、笑喜を一回りする七区間六・六キロ

チームは、小・中学生と父母を含めた七人から九人で編成され、中学生の女子と母親は一区間を二人で走れる変則的なルールが取り入れられ部落ごとにみんなが楽しく参加できる大会です。今年は各部落から十一チームとオープン参加として消防団と中学生だけのチーム、そして全コースを一人で走る厚ケ瀬則男さん（二十三歳）が出場しました。

①宿利原A（24分14秒）②才原（24分20秒）③落河（25分32秒）④大尾 ⑤岩元 ⑥宿利原B ⑦厚ケ瀬 ⑧牧原 ⑨協和A ⑩協和B ⑪命苦

大会当日はあいにくの小雨まじりの天候でしたが、子から親、親から子へとバトンタッチをしながら寒さを吹っ飛ばして懸命に力走していました。沿道では、各部落から多くの応援者が出て、また大根引きや大根干しをしている人達もしばしば手を休めて盛んに声援を送っていました。

戸籍に関する情報は ホームページ上では 掲載していません

善意の話題

町社協へ

社会福祉事業に役立ててく
ださいと次の方々から、香典
返しにかえ寄付がありました。
厚くお礼申し上げます、故人のご
めい福を祈ります。

山元 タケノリ (スエ) は故人
外山 貢 (タエ) 馬場 麓
羽島 ノキ (義男) 笑喜 上
東 キヌエ (次雄) 弓場 下

広報紙謝礼

東京都大田区在住の
中村直次さんから金一封
出水市在住の
岩城喜一郎さんから金一封
札幌市在住の

山下 万蔵 (ツヤ) 木 場
脇田 芳子 (幾保) 半下 石
東 辰夫 (ハナエ) 皆 倉
命 苦 元 (ユキ) 命 苦
白井 秀則 (栄蔵) 白 井

川越辰信さんからの金一封
鹿屋市在住の
皆倉保男さんから金一封

東京都東大和市在住の
谷口盛孝さんから金一封

愛知県愛知郡在住の
瀬戸口悟さんから金一封

埼玉県戸田市在住の
田実キクノさんから金一封

鹿児島市在住の
本金耕造さんから金一封

日置郡在住の
今村三男さんから金一封

高槻市在住の
鶴崎慎さんからの金一封

埼玉県北葛飾郡在住の
鶴崎常吉さんからの金一封

春の全国火災予防運動

二月二十八日～三月十三日